

伏見青年学生対策委員長

西山

にしやま 頌秀

のぶひで

PROFILE:1986年伏見区淀で生まれる。京都市立日吉ヶ丘高校、立命館大学文学部卒。京都市民報社を経て、日本共産党伏見地区委員会勤務。京都市保育園保護者会連合協議会副会長。

活動地域

淀、淀南、納所、横大路、下鳥羽、羽束師、久我、久我ノ杜、住吉、板橋、稲荷、砂川、深草、藤森、藤城、竹田



JCP supporter

JCPサポーター
ぜひ登録してください

@nishiyamanobu

悪政、生きづらい社会

もう黙って いられない



今度こそ
府議会へ

日本共産党

伏見民報

2018年11月 発行:日本共産党伏見地区委員会
〒612-8081京都市伏見区新町10丁目381番地

日本共産党伏見地区委員会は次の見解を発表しました。

オール与党の 悪政と対決

日本共産党は一貫して「国民の苦難の軽減、国民の利益を守る」立場です。みなさんといっしょに、要求の実現のために、とことんがんばることが出来る政党です。

議会でも知事や市長、理事者に繰り返し迫り、他党の追随を許さない働きをしています

地域、現場に密着。現場で調査し、 問題解決のために積極提案

日本共産党の各議員が地震、大雨災害、台風の際いち早く現地に行き、被害状況を調査。また「青空相談会」も開催し、住民のみなさんの切実な声を聞きました。今京

都府・市議会で「被災者の生活再建を第一に」と様々な要望を出しています。伏見の住民から「共産党がいちばん親身に話を聞いてくれた」の声も出されています。

災害に強い
まちづくりに全力



地震被害の大きかった淀で相談会

住民といっしょに粘り強く運動をすすめ、 解決のために全力

敬老乗車証制度の
改悪を許さない



京都市に申し入れ

敬老乗車証を「乗るたびに運賃を払う制度」に改悪する動きに反対し、伏見で敬老乗車証を守る署名運動がすすめられました。市内各地で12次にわたる署名約3万7千筆を提出。今年も敬

老乗車証制度の改悪をストップさせました。

また、コミュニティバスの運行など、伏見のみなさんの足を守る取り組みに全力をあげます。

税金のムダをただし、 住民に役立つ仕事に転換

国保料の引き下げ。
安心して医療が受けられるように

伏見では「高すぎる国民健康保険料の引き下げ」の運動を各選挙のたびにすすめてきました。今、自公政権の下で、公的医療費の押さえ込み、市が実施してきた国保料の住民負担を軽減する財政措置をやめさせる動きがあります。「高すぎる

京都市の国民健康保険料は1万円の引き下げを」…日本共産党は引き続き、子どもからお年寄りまで、安心して医療が受けられるよう、市の膨れ上がる大型事業の見直しをすすめ、医療費の拡充にむけた運動をすすめます。



いのちの署名の宣伝行動

伏見のいのち・暮らしを守る 日本共産党

府会 2名 市会 3名



2019年 安倍自公政治に終止符を！

憲法9条守れ、原発ゼロ、消費税増税ストップ

4月統一地方選、7月の参議院選挙で、日本共産党の躍進、市民と野党の共闘で、国民生活と日本の民主主義を守りましょう。



比例代表
井上さとし 参院議員



京都選挙区
倉林明子 参院議員

日本共産党市会議員

やまね 智史

活動地域

稲荷、砂川、深草、藤森
武田、藤城、桃山、南浜

profile:1980年生まれ、37歳。龍谷大卒業後、雇用・貧困問題解決めざし伏見で10年、労働相談、ブラック企業実態調査などに取り組む。2015年、京都市議会議員選挙で初当選。「ブラック企業根絶」「スポーツの環境整備」「民泊問題対策」に取り組むとともに、「地域循環バス」「駅のバリアフリー」「通学路の安全対策」「児童館など公共施設の充実」「京都市独自の給付型奨学金」「全員制の中学校給食」「中学校卒業までの医療費無料化」などの実現をめざし活動中。

伏見民報

2018年11月 発行:日本共産党伏見地区委員会
〒612-8081京都市伏見区新町10丁目381番地

日本共産党伏見地区委員会は次の見解を発表しました。

市民生活
最優先

住みよい伏見へ全力！

生活交通をもっと便利に！

本町通の市バス重複ダイヤ(右写真)解消、師団街道を走る市バスの増便、稲荷大社前バス停の安全対策などが実現。次は「藤城地域での循環バス実現」を目指します。伏見の交通をもっと便利に！



市民の財産は市民のために！

伏見工業高校跡地(左写真)や水道局伏見営業所跡地は地域のみなさんのために活用を！「お年寄りや子どもの居場所」「気軽に使える」「防災の拠点」となる公共施設がもっと伏見区に必要です！



公約に掲げた「ブラックバイト対策」「バス待ち環境改善」「スポーツ施設の環境整備」などが少しずつ前進！



【やまね智史プロフィール】
1980年11月1日生。龍谷大卒業後、ブラック企業根絶、文化・スポーツの環境整備、原発ゼロをめざし活動中。「京都サンガF.C.を支援する京都市会議員連盟」副会長。



2期目に挑戦！



伏見の未来ひらく、若い力

私、西山のぶひでは、多くのみなさんから「今のままでは暮らしていけない」「長時間労働で健康が心配」などの声を聞いてきました。みなさんの声を届ける日本共産党の議席、故上原裕見子府議の遺志を引き継ぐ決意をあらたにしています。伏見にある多くの課題の解決、安心して生活できる地域へと、全力でがんばります。

府政に
声を
とどける

32歳

現場に即直行 災害に強いまちづくりに全力

大阪北部地震、西日本豪雨、台風と伏見のまちを次々と災害がおそいました。党府会議員団は災害直後に住民のみなさんの「屋根瓦がずれた」「壁にひびがはいつた」「雨漏りしている」などの声を行政に届け、住宅被害の補償を拡充することができました。さらに河川改修や被災者支援制度の拡充など住民のみなさんによりそった府政の実現へ尽力します。

淀で地震被害の相談会をひらきました



祖父・西山秀尚元府議、久守一敏元府議
故上原ゆみ子元府議の実績を引き継ぎ
全力でがんばります。

「格差と貧困の解消」 「人権侵害は許さない」 が私の原点



高すぎる大学の学費と苦しい返済生活を強いる奨学金、低賃金と不安定雇用、そんななかで、セクハラ・パワハラにじっと耐えていた友人たち。学生時代には奨学金の問題で苦しんでいる若者たちと一緒に運動をすすめました。いまでも、奨学金の問題、若者の働き方の問題で、宣伝や署名行動に取り組んでいます。将来に不安を持たず、健康で生きやすい社会の実現に向けてがんばります。

子どものいのちを守る

3人の子どもを育てる父親として、保育園の保護者会活動にもかかわっています。待機児童の解消、認可保育園の増設、学童保育の増設、子どもの医療費無料化などの実現にむけてがんばります。



こんな活動にも取り組んでいます！



毎月一度行われている「ふしみ原発ゼロパレード」に参加！

喫茶店で「政治カフェ」開催！



誰もがスポーツを楽しめる京都市に障がい者スポーツ（電動車いすサッカー）の環境整備について取り上げ、専用体育館へのエリアコン設置が実現！

私も応援します！ 半浦太朗さん（伏見区在住）
「市議会での鋭い質問が 市政を面白くしてくれろ」



沖縄の保育所・学校上空で米軍ヘリの事故が相次ぎ、自分も子どもを持つ人間として黙ってられず、商店街で署名を集めました。その時に駆けつけてくれたのがやまねさんでした。どんどん増えることを願ってます！

た。どんな時でも真剣で前向き。市議会での鋭い質問は、近くて遠い市政を面白くしてくれます。やまねさんの活動を追う「やまねマニア」がこれからどんどん増えることを願ってます！

深草大岩山の違法開発行為をゆるさない！

深草の環境を守り、災害対策の前進へ全力をあげます。大岩山へ違法に持ち込まれた土砂(右写真)が豪雨で崩落。土石流となり市民の命・安全が脅かされる事態に。共産党がくり返し議会で論戦中！



「民泊」「簡易宿所」には厳しい規制を！
住環境を守るため

騒音・火災・感染症・犯罪の温床…
住環境を破壊する無人営業の「民泊」「簡易宿所」は厳しく規制すべきです。引き続き「違法物件の営業停止」「路地奥・住宅密集地は営業禁止」「管理者常駐の義務付け」「近隣住民との合意義務付け」を求め、たたかい続けます。



違法民泊に苦しむ住民のみなさんと市に申し入れ。「営業中止」「撤退」を実現させました。

応援します



淀在住 上原 淳一さん
西山のぶひでさんの祖父、故・秀尚さんは、私と同じ伏見区で生まれ育ち、府議として地域のために尽力されました。

私は長年自民党員として活動し、淀分会の分会長をしてきましたが、2008年に離党しました。後期高齢者医療制度の強行など国民の声を聞かない姿勢が許せなかったからです。今の政権はさらにひどく、独裁政治そのものです。特に現政権が狙う、憲法9条を変え戦争できる国にしようとする動きは危険です。戦争を体験したもとして絶対に許せません。淀で生まれ育ったのぶひでさんにも、おじいさんの遺志を引き継いで、政権に対峙して頑張ってくださいたい。



龍谷大学教員
細川 孝さん

教職員組合などの活動を通じて、学費・奨学金や学生の就職問題に取り組むなかで、西山のぶひでさんと何度か一緒に過ごす機会がありました。当時は学生自治会の役員や京都市民報の記者としてでしたが、今度は府会議員としての西山さんと一緒に、さまざまな問題に取り組むことができたらと思います。これまでの活動を通じて、府議会でもすぐに活躍できる力を備えていると確信しています。若い西山さんに大いに期待しています。



藤森在住6児の子育てママ
武村さかえさん
子育て世代の代表ですが、「すべての世代」が前を向けるような社会の実現を目指してがんばってもらいたいです。

